

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/07/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



ドライブシーズンで底固く推移

NY原油先物相場は、1バレル=66～69ドル水準で底固く推移した。北半球のドライブシーズンでガソリン需要の拡大期待が強く、短期需給の引き締まりが意識された。石油輸出国機構（OPEC）プラスが8月に日量54.8万バレルの減産縮小（＝増産）を行うこと決めたことで売りが膨らむ場面も見られたが、大きな値動きには発展しなかった。トランプ米大統領が各国に対して関税の通知を行ったが、実際の関税発動は8月1日とされたことで投資家のリスク選好性が大きく損なわれることはなく、原油相場に対する影響は限定的だった。

地政学リスクから需給環境にマーケットの関心はシフトしているが、ドライブシーズンの需給引き締まりに対する信頼感が、原油相場を下支えしている。米国のガソリン消費量は前年同期を上回る水準で推移しており、景気減速懸念が強くなっているが、行楽需要は堅調と評価されている。このため、季節的な需給引き締まりが意識されやすかった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月4日時点）は、原油が前週比707万バレル増、ガソリンが266万バレル減、石油精製品が83万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

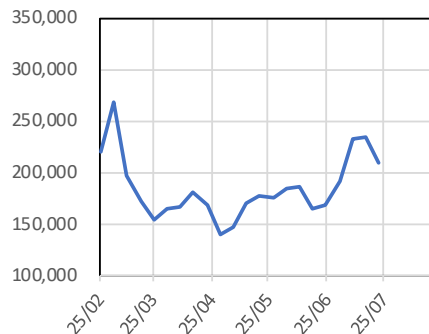
ドライブシーズンで底固い、60ドル台中盤から後半を推移か

ドライブシーズンのガソリン需要が、原油相場を下支えしている。ここ数年はドライブシーズンの原油価格上昇はほとんど見られなかったが、今年は季節要因で底固く推移している。国際エネルギー機関（IEA）も7月11日に公表した月報で、4～6月期は日量174万バレルもの在庫積み増しが予想されるが、原油価格動向、そして大幅な逆サヤ（期近高・期先安）は現物需給のひっ迫を示唆していると指摘している。地域間の偏りが大きいとみられるが、このままドライブシーズンの需要環境について楽観的な見方が維持されると、70ドルの節目を意識した展開になろう。米国内需給動向に対する関心が高いため、16日に発表される米原油・石油製品在庫統計に注目したい。

一方、通商環境は急激に不安定化している。トランプ米政権は日本と韓国に25%、ブラジルに50%、カナダに35%など、各国に対して新たな関税税率を通知している。8月1日までに交渉期限とされているため、マーケットは実際に通知された通りの関税が発動される可能性は低いとの楽観ムードが目立ち、株価は高値圏を維持している。ただし、残された交渉期間が徐々に限られる中、通商リスクの織り込みによる株価急落といった動きがみられると、原油相場も65ドル水準まで下押しされる可能性がある。

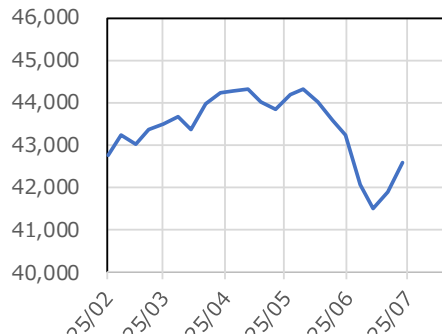
7月15日に石油輸出国機構（OPEC）プラス月報が公表される。原油相場に対する影響は限定的とみられるが、需要見通しの修正状況には注意が必要。また、同日は中国経済指標の発表が集中する。中国経済の減速懸念を改めて織り込む動きが優勢になると、下振れリスクが高まる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



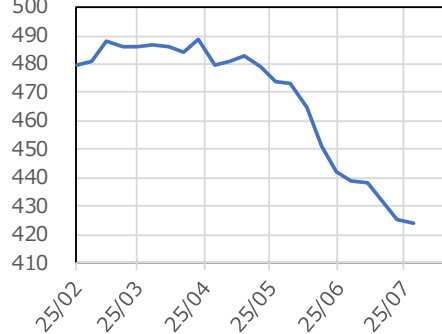
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

